

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	秋田県 大館市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大館市文化遺産活用まちづくり事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「大館市歴史的風致維持向上計画」（平成29年3月策定）を踏まえ、文化遺産を活用して地域活性化を推進するとともに、市民の誇りと郷土愛を醸成することを目指し、下記の取り組みを実施する。</p> <p>また、実施計画期間中は、下記の取り組みを通じて、地域全体で住民自らが歴史的風致の維持向上に取り組み、文化遺産を保存継承し、活用するための体制の確立を目指す。</p> <p>※大館市歴史的風致維持向上計画 http://www.odate.akita.jp/dcity/rekisimati/files/rekishitekifutiijikojokeikaku1.pdf</p> <p>※大館市観光基本計画 http://www.city.odate.akita.jp/dcity/kankou/files/odatshi_kankoukihonkeikaku2016-2023.pdf</p> <p>※大館市ふるさとキャリア教育 http://www.city.odate.akita.jp/dcity/kyokenkyu/11-7371.html</p>			
6 実施体制			
<p>【全体の企画・調整】 教育委員会歴史文化課：文化財の取扱、その他指導・調整等</p> <p>【補助事業の指導】 建設部まちづくり課：構成団体の指導・調整等</p> <p>【連携】 産業部観光課：観光業務に関する連携等 教育委員会学校教育課、教育研究所：ふるさとキャリア教育に関する連携等</p> <p>【実施団体】 大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会（委員長：長谷川 文悦） 構成団体（大館郷土芸能保存協会、大館ばやし保存会、大館・北秋田建築士会、大館神明社例祭余興奉納実行委員会）</p> <p>補助事業に係る書類及び成果物等は実行委員会事務局と関係構成団体が管理する。 各年度の事業終了後は、大館市歴史的風致維持向上協議会において、事業の実施報告及び成果の評価を行う。また、評価結果については、毎年度大館市歴史的風致維持向上計画で実施する事業計画内容に反映させていく。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 12,466 千円	平成31年度申請額： 9,297 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の文化遺産に対する関心や意識が向上することは、大館市の歴史的風致維持向上を目指す原動力となり、文化遺産を自らの手で保存継承することや、地域活性化の取り組みにつながることを期待できる。</p> <p>また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制が構築されることにより、歴史的風致維持向上計画に登載した具体的な計画の実現に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	重要文化財（大館八幡神社）覆屋建替事業：文化庁補助事業 伝統文化親子教室授業：文化庁補助事業		
事業概要：	大館城下町地区街なみ環境整備事業：国土交通省補助事業		
事業概要：	小・中学校社会科副読本作成業務：市単独事業		
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
『大館市歴史的風致維持向上計画』が平成29年3月17日に認定された。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	秋田県 大館市教育委員会 歴史文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	大館郷土博物館の年間入館者数			関連事業:	①②	
目標値1:	【現状値】平成29年度 4,546人 ⇒ 【目標値】平成34年度 4,800人					
設定根拠1:	過去5年間の平均入館者数を現状値とし、市人口減少率5%をかき上げすることを目標として設定。					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
4,379人	人	人	人	人	人	
-66%						
目標区分2:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分2:	地域の文化遺産を活用した取組数(本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	歴史的建造物等に対する修繕・活用案など対策を提示する。			関連事業:	③	
目標値2:	【現状値】平成29年度 0件 ⇒ 【目標値】平成34年度 20件					
設定根拠2:	ヘリテージマネージャーの継続した実践活動として設定。					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
0件	件	件	件	件	件	
0%						
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	大館ばやし保存会の会員数			関連事業:	④⑤⑥	
目標値3:	【現状値】平成29年度 21人 ⇒ 【目標値】平成34年度 25人					
設定根拠3:	大館ばやし会員数の1.2倍増を設定。					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
26人	人	人	人	人	人	
125%						
目標区分4:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分4:	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4:	大館神明社例祭余興奉納行事への参加者数			関連事業:	④⑤⑥	
目標値4:	【現状値】平成29年度 2,410人 ⇒ 【目標値】平成34年度 2,410人					
設定根拠4:	人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況4:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
2,629人	人	人	人	人	人	
#DIV/0!						

目標区分 5 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 5 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 5 :	桜櫓館、秋田犬会館、曲げわっぱ体験工房の年間入込客数	関連事業:	①②			
目標値 5 :	【現状値】 平成 29 年度 9,630 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 11,164 人					
設定根拠 5 :	観光基本計画の伸び率を参考に、毎年3%の伸び率を設定。					
進捗状況 5 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
24,269 人	人	人	人	人	人	
954%						

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	大館市文化遺産ホームページ作成事業					実施団体：	大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度				
事業概要：	大館城下町の文化財について広く情報を発信して、県内外へ素晴らしさを伝えて認知度を高めるとともに、興味を持つ人々の誘客を図るため、各文化財の名称、所在地、アクセス方法、歴史等を写真・動画を用いて紹介するホームページを作成する。										
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数 (PV数)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	大館市文化遺産ホームページ閲覧数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 PV ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 70,000 PV										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度						
0 PV	PV	PV	PV	PV	PV						
0%											
事業②：	大館市文化遺産パンフレット作成事業					実施団体：	大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	大館市への来訪者に、市内の文化財等へのアクセスや歴史を一覧で紹介できるようなパンフレット。観光イベントなどと連携して配布できるように考慮する。平成31年度は外国語版リーフレットを印刷する。										
評価指標区分：	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数 (自主事業分)					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	観光事業等と連携して、継続的にパンフレットを増刷し配布する。平成33年度以降にパンフレット2,000部増刷予定。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 部 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 8,000 部										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度						
6,000 部	部	部	部	部	部						
75%											
事業③：	ヘリテージマネージャー育成事業					実施団体：	大館・北秋田建築士会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度				
事業概要：	地域に存在する歴史的建造物に対し、修繕案や活用案などを提示できるようになることを目標に、ヘリテージマネージャー育成講座を開催する。平成31年度は資格取得者を対象に、歴史的建造物の保全活用に関するスキルアップ事業を実施する。										
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	歴史的建造物等に対する修繕・活用案など対策を提示する。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 20 件										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度						
0 件	件	件	件	件	件						
0%											

事業④：	秋田の祭囃子シンポジウム等開催事業	実施団体：	大館郷土芸能保存協会 大館神明社例祭余興奉納実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度			
事業概要：	<p>少子高齢化による後継者不足、継承活動等について大館ばやし保存会と秋田の祭囃子の交流を行い、問題点の洗い出しや歴史の紹介、情報共有を図るための機会とする。平成31年度はパネルディスカッションを実施する。</p>					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	大館ばやし保存会の会員数1.2倍増を設定					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 21 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 25 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
26 人	人	人	人	人	人	
125%						
事業⑤：	大館囃子教則映像記録事業	実施団体：	大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	<p>大館囃子は市指定無形民俗文化財であるが、少子高齢化や後継者不足の問題を抱えている。後世へ正確に継承するために大館囃子の教則映像を作成する。 平成31年度においては、ホームページ作成事業と関連してページの磨き上げを行う。</p>					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	大館囃子の合同練習会や各地区の講習会で活用する。また、ホームページ事業や交流事業、歓呼事業、ふるさとキャリア教育等の取り組みと連携して、大館囃子の歴史や継承についての情報発信に活用する。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 25 回					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
0 回	回	回	回	回	回	
0%						
事業⑥：	大館囃子講習会事業	実施団体：	大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度			
事業概要：	<p>大館囃子は、大館神明社例祭の中心となるが、後継者不足の課題がある。後世に正確に継承するため小中学生を対象として大館囃子の講習会を開催し、後継者の育成をするとともに地域に対する郷土愛を育む。平成31年度以降継続して開催する。</p>					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	大館神明社例祭余興奉納への参加者数(人口社会減の状況から、現状維持を設定)					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 2,410 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 2,410 人					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
2,629 人	人	人	人	人	人	
#DIV/0!						